

1, 2年生 校外学習

2月7日(火)には1年生、14日(火)には2年生の校外学習が行われました。両日ともに天候に恵まれ、充実した行事になりました。両学年とも、班行動をしっかりと行うことができ、成果が見られました。特に2年生は昨年度の反省を生かすことができたので、今年の5月に行われる修学旅行にも、つなげることができたと思います。

学校行事については、学習指導要領の中に次のように示されています。「学校又は、学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、・・・資質・能力を育成することを目指す。」

どのような資質・能力を育成していくかについても次の3つが示されています。

- 各学校行事の意義について理解するとともに、行事における活動のために必要なことを理解し規律ある行動の仕方や習慣を身に付けるようにする。
- 学校行事を通して集団や事故の生活上の課題を結び付け、人間としての生き方について考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりすることができるようにする。
- 学校行事を通して身に付けたことを生かして、集団や社会の形成者としての自覚を持って多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養う。

普段の学校での授業では協働学習として4人グループを中心に学んでいますが、校外に出たときにその時に培った力を活用して、資質・能力として示されているものを伸ばすことができると考えています。今回の校外学習では、グループの中で自分の役割をもち、コミュニケーション能力を高め、自己肯定感の向上につながるものになったと思います。

次年度に向けて

現在、みなさんから寄せられたアンケートや自己評価をもとに、次年度の計画を立てています。今年度の改善点を生かした計画にしようとして話し合いを進めてきているところです。今年度と来年度の取組については、令和6年1月30日(火)に大田区教育委員会教育研究推進校として研究発表を行う予定です。

また、みなさんから寄せられたアンケート結果については、学校ホームページに掲載していますので、お時間のある時に是非ご覧ください。



2月の蓮沼中学校

副校長 久住直子

2年生は「鎌倉社会科見学」、1年生は「社会科見学(東京都内)」、I組は「お別れ遠足(八景島シーパラダイス)」にと、校外学習や遠足が目白押しのものでした。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ始め、本校関係者の感染者数も2月はかなり少なくなりました。諸外国の映像でマスク姿を見ることもほとんどなくなり、日本でもマスクをはずそう、という流れが出てきました。2019年から始まった新型コロナウイルスのパンデミックがようやくここまで来たか、と感慨深いものがあります。

1年生2年生の皆さん、まだまだ感染には十分気を付けなければなりません、このような校外学習が実施できるようになって本当に良かったですね。現地に行って本物を見て学習を深めることはできましたか。友達との楽しい思い出は作れましたか。進級までいよいよ1ヶ月となりました。上級生になる準備は万端ですか。

さて、ここからは卒業する3年生の皆さんに向けて・・・。

思えば、来月卒業する3年生は、新型コロナウイルスの流行真っ只中の中学校生活でしたね。4月にできなかった入学式から始まって、先生にも友達にも全く会えず、教科書さえもなかなか配れなかった新入生でした。3年間で中止や縮小になった行事も数知れず。残念に思ったこと、悔しかったこともさぞかし多かったでしょう。大人も子どもも日本も世界も混乱を極める中、やけも起こさず、粛々とまじめにしっかりと、3年間学習やスポーツに励んできた3年生の皆さんが、受験という試練を乗り越え、いよいよ卒業を迎えます。

このコロナ禍の経験は必ず将来、君たちの糧になると私は確信しています。この経験から何を学ぶか、この時代を生きる私たち一人ひとりが考えなければなりません。それぞれがそれぞれの場所で、困難なこの時代にどのような未来を創っていくか常に考えながら、たくましく生きていきましょう。

君たちの未来が明るく輝きに満ちたすばらしいものとなりますように。

卒業まであと3週間あまり。

この3年間の君たちの「たくさんの我慢」を帳消しにするような、最高の毎日にしましょう。卒業おめでとう。